

流木対策の検討について

流木対策の検討フロー

貯水池上流域で発生する流木量の検討



流木対策施設設置位置の検討



流木対策施設の構造検討



流木捕捉量の照査



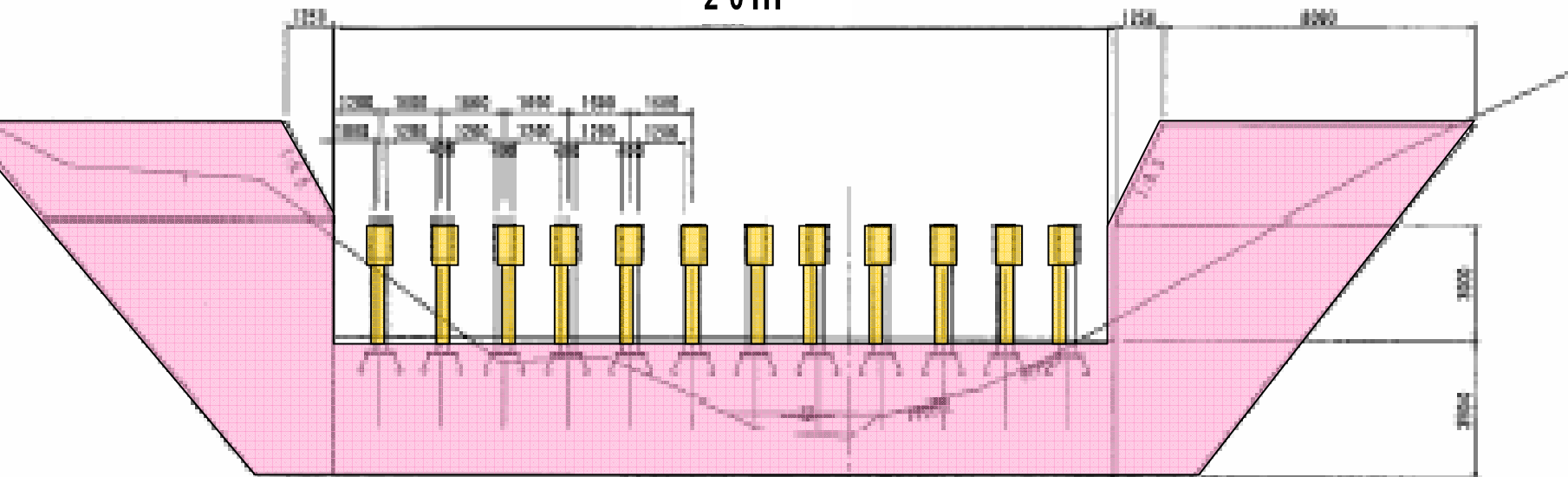
流木対策工設置に伴う背水影響の検討

ダム貯水池上流の流木対策施設位置

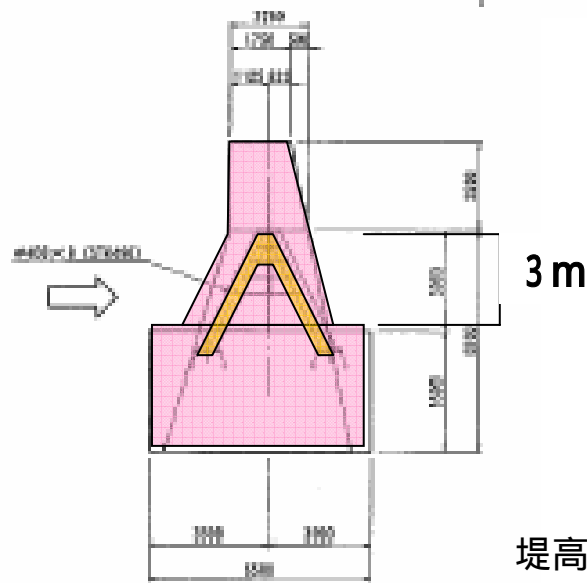


正面図

20m



断面図



約540m³の流木の捕捉が可能

堤高などの諸元、形状等は変更することがあります。

流木対策工 A型スリットの事例



島根県 益田川ダムの事例 常用洪水吐き流木止め構造図



スイス オルデンドラムの事例 常用洪水吐き流木止め構造図



常用洪水吐きはスクリーン
設置
底部は自然河川状態

京都大学角先生の資料より抜粋

オルデンドラム…治水専用ダム

1971年完成 堤高42m 貯水容量167万m³ 常用洪水吐き 円形1.6m

流木対策のスクリーンが下端から天端まで設置されている。